

科目名	フランス語 I				英文表記	French I		22 年 2 月 26 日	
教員名： バイティガ ザカリ 技術支援：								作 成 修 正	
対象学科		学年		必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科		3 年		選択	学修	1 単位	講義	前期	
目 標		フランス語の発音と綴り字の関係を理解し、正確な発音を習得する。 基本的な文法事項を理解し、応用することができる。 「読む」「書く」「聞く」「話す」という 4 つの力を総合的に養成する。 フランスとフランス語圏の文化へのより深い理解と興味を高める							
高 専 目 標		1	2	3	4	JABEE プログラム名称			
						JABEE プログラム教育目標			
授 業 概 要、 方 針、 履修上の注意									
評 価 方 法		中間・期末試験の成績を 60%、課題 30%、授業への積極的な参加を 10%で評価する。							
教科書・教材		C'est la Vie (CD付)							
参 考 図 書		多田 道太郎 編『クラウン仏和辞典』(三省堂) (他にも参考図書を探す場合のキーワード：仏語・仏検・フランス語検定)							
関 連 科 目									
授 業 計 画									
授 業 項 目				時間	授 業 内 容				
1. ガイダンスと発音 I				2	教科内容や授業の進め方・評価方法を説明し、フランス語の発音の仕方や綴り字の読み方を学ぶ。				
2. 発音 II				2	アクセント・イントネーションと句読記号を学ぶ。				
3. 自己紹介 I				2	自分の名前・国籍などで簡単に挨拶できるようにする。				
4. 自己紹介 II				2	自分の名前・国籍・職業についての応用。				
5. 文法 I と人物の紹介				2	絵の人物の紹介と基本的な文法を段階的に学ぶ。				
6. 文法 II				2	不定冠詞・定冠詞と指示形容詞の仕組みを理解する。				
7. 筆記練習				2	CD を利用し上記の内容の練習と試験対策を行う。				
8. 前期中間試験				[2]	前学中間試験を行う。				
9. 数字				2	フランス語の 1～20 までの数字を学ぶ。				
10. 否定分・所有形容詞				2	否定分・所有形容詞の作り方・利用し方を理解する。				
11. 否定分・所有形容詞の応用				2	クリスチャン・タデの家族と親戚の紹介を行う。				
12. 動詞の活用 I (être)				2	基本動詞 être について学び、活用を覚える				
13. 動詞の活用 II (avoir)				2	基本動詞 avoi について学び、活用を覚える				
14. 目的の表現：pour+不定詞・前置詞				2	pour+不定詞・前置詞の作り方と利用し方を学ぶ。				
15. 前期で学んだ事の復習・まとめ				2	前期の復習とまとめ、試験対策を行う				
前期末試験				[1]	前期授業の内容に対して試験を行う				
学習時間合計				[30]	実時間		25		
学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など)									